

## 平成30年度 第3回わくわく市民懇談会

- 1 日 時 平成30年7月21日(土) 午後3時50分から午後4時50分まで
- 2 場 所 金井農事集会所
- 3 出席者 金井区民23名  
市長、随員職員2名
- 4 市長講話

こんにちは、市長の池田です。

早速ですが、今日はあらかじめいただいたテーマについてお話したいと思います。

小学校の統合に当たりまして、通学路や方法などについては、協議しているところですので、詳しくはお話できませんが、児童の安全を確保することを大前提に考えています。

一方で、学校統合の在りようとして、名前が「高社小学校」に変わるだけでは、意味がないと考えています。平岡、長丘、科野、倭小学校の4校が一緒になるわけですので、みんなが新しい学校と思えるような教育内容や教育体制、設備を考えるように指示を出しています。

ちなみに、県の教育委員会では、現在「高校の再編」について問題になっています。中野市の高校につきましても、中野立志館高校と中野西高校があるわけですが、県の意向としては、統合していくようなかたちで考えているようですが、これらの問題については別の観点から考えていく必要があります。ここもやはり、高社小学校の話と同じで、まったく新しいものの考え方やここに住まう人、通える人が少なくなってきたから減らすということではなくて、逆に外から人が入ってくるような教育内容や特徴ある学校づくりを考えることの方が、人口減少の現代では合理的であるという話をしようと考えています。いずれにしましても、この学校統廃合につきましても、子どもたちが移動する結果、親御さんたちも移動しますので、放課後児童クラブの在りようなどについても検討してもらっていますので、十二分に協議や話し合いを進める中でその整備にあたって進めていきたいと思っています。また昨今、暑い日が続きまして、学校のエアコン設置ということですが、行政としては、時間をかけてでも検討していかなければいけないと思いますが、財源をどうするかという問題もあります。夏場のエアコンとなった場合に、新電力ではありませんが、太陽光を使ってそれを賄うことは出来るんじゃないかなということも思っています。いずれにしましても、周

辺環境でもこれだけ暑くなれば、そういった動きはどんどん出てくると思いますので、そういった動きに遅れないように進めていきたいとします。

これに加えて、道路の関係ですが、壁田と豊田を結ぶ橋が2022年には出来ると思います。そうしたところで、橋の下に空き地が出来るのですが、飯山市さんや千曲市さんと千曲川を利用した「川・街づくり」ということで、橋げたの下にいわゆる船着き場を作るような観光開発を考えています。まだ、予算付けなどは出来ませんが、そういった観光開発も考えていきたいとします。

さて、中野市の人口増減を見ていただきますと、毎年200～300人が減少していき、基本的には自然減が主となっています。社会増減は、少ない年を見ると100人弱で出ていく人が多い状況にありますが、若い人が出ていくということの中野市で抑えることができれば、楽観的かもしれませんが、人口減少は止められると考えています。

このところ、企業の進出が目立っていき、中野市内に生産拠点や物流拠点を移すという動きの情報が出てきていき、北信地域の経済的中心というポテンシャルは変わらないのかなと思っています。先般、信州中野駅前へのホテル誘致について、発表をさせていただきました。これについて、平成31年度末にはホテルがオープンするものと思われます。そして、なぜ駅前にホテルを誘致したのかということですが、駅前の土地は私有地であり、市では進出する企業と土地の持ち主さんの両方にお話をしまして、「商業ベースで考えてくれますか。」ということで話したところ、合致しまして、うまく成立したということになります。中野市の場合には、隣に山ノ内町の温泉街があり宿泊施設がたくさんあって、中野には泊まる必要はないんじゃないかという声も市長に就任してからいただきましたが、2期目に入ってこれは違うなと感じていました。東京などから来る人に聞くと、中野市に来る人はビジネスという目的で来る人がけっこういらっしゃるようで、製造業などから病院もそうです。病

院の人に聞いても、北信総合病院には信州大学の医局があるということで、研修医の方などが多く出入りするのですが、近くに泊まる場所がないという声も聞こえてきます。看護師さんもそうですが、病院関係やビジネス関係、観光でも需要があります。

一方で、七瀬のルートインホテルでは増築工事がされて144室となりました。駅前のホテルは120室程度を考えているそうなので、合わせて270室ほどになります。これからも中野市が北信地域の中心地域であるためには、都市機能は中野になければいけない、外にあるから中野では持たなくていいということでは、この地に人は来ないと考えています。やはり、中野市で一つ完結させておくことが将来的に渡っても、戦略的にも中心地としてあり続ける手立てになりうるということによってやってきました。

また、これから考えていることは、そういった施設もそうですが、例えば農業関係では「食の拠点」を作りたいと思っています。市が中心にというよりは、民間の人の了解を得て民間の人が中心に進めてもらうことを考えていきたいですし、中野市で就農してもらうために、そういった人たちを育て上げるような機関を作っていきたいと思っています。金井区にもお祭りがあると思いますが、建物を作る前にやらなければいけないことは、文化を支えるための文化芸術財団のようなものです。そこが中心になって動いていくことが大事になります。例えば、体育協会を考えてもらえばいいと思いますが、運動系を仕切ってその協会のもとで市民の方々は活動が出来ていますが、文化系にはそういった団体はありません。市のお祭りなど、どうやって継承していくかということや資金面などを考える団体がなく、体育協会に並び示されるような「文化芸術財団」を作らなければいけません。これは先般、県外の自治体に行った際にそういったことにより文化芸術の保存や振興を行っていると同いだったので、今はそんなことを考えています。

それでは、事前にいただいた質問の中で「ふるさと納税」がありますが、中野市の

場合には、農産物が豊富にありますので、持てるものと持たざるものと言われますが、中野市にはありとあらゆるものが揃っていますので、ふるさと納税というかたちで資金を確保していきたいと思っています。ふるさと納税の基金残高が2億3,600万円ほどありまして、平成20年度からの累計金額が8億6,400万円ほどになります。飯山市さんや伊那市さんのふるさと納税の金額を見ると、中野市の市税収入と同じ金額になりますが、いろんなやり方で農業製品、工業製品を活用しながらうまくやっていきたいと思えます。また、民間でいうクラウドファンディングという目的をもってお金を集めて、一定の金額になったら、それについて利用していくという方法もあります。ちなみに、今までの累計の件数が61,501件で約8億6,400万円となっています。平成27、28年の寄附金額は年間で2億9,400万円弱あって、前年と比べるとかなり増えているのですが、これは(株)コシナさんの交換用カメラレンズなどを扱わせていただきましたこともあると思えます。そういったことで平成29年には、総務省からの規制もありましたので、2億円ほどに減少してしまいましたが、それに代わるものに力を入れていきたいと思えます。また、これらのふるさと納税の使い方につきましては、環境保全に累計で1億6,000万円、都市基盤整備に1,200万円、教育関係に1億8,600万円、文化振興に3,000万円、医療福祉に1億1,800万円、そして「市長におまかせ」が3億300万円という状況になっています。

そして、これから皆さまにお願いしたいことは、言葉は悪いかもしれませんが、徒党を組んでいただきたいと思えます。金井区の皆さんはここを何とかしたいと考えていることがあるかと思えます。長野県では「元気づくり支援金事業」をやっています。北信地域で総額6,000万円を配分しています。中野市では、総額200万円で「中野のチカラ応援交付金」というものがあります。最高30万円ですが、自分たちで工夫したことをやりたいけども資金がないという時に、社会公共性があってなどいくつ

かの基準がありますが、何かをやりたいという時に活用いただけます。ちなみに、北信総合病院周辺の西町では、立ヶ花東山線という都市計画道路の整備と一緒に街の整備を同時に進めていきたいということで「協議会」を発足しまして、活動しています。これには、北信総合病院と市も入っているのですが、その時に活動資金が無いということでこちらの交付金を利用しています。ですので、なんでも相談して、使ってもらえればと思います。そして、今までは「行政が考えてくれ」という形だったものが、まずは「自分たちは何が出来るか」ということで資金援助などについて相談をしてもらえるほうがこれからの時代であると思っています。

それから、市役所職員の数が現在430人ほどいるのですが、市の人口が43,000人で100人に1人という割合ですが、これから総務省からもっと職員の数を減らせと言われると思われれます。そうすると、今までの市役所職員としての動きが出来なくなっていくますし、市民の皆さまと協力・協働して何かをやる仕掛けを作っていかなければいけません。そのためにも、自分たちで動くという体制が大事になってきますし、もちろん、今でも市のことについていろんなところでご協力をいただいています。それ以外のところで自主的に動いて仕掛けを作っていたいただきたいということがあります。いずれにしても、これからいろんな面でやり方や体制、機能などの見直しをしていかなければ、その仕組み自体も難しくなる時が来ると思われれます。そういったことも含めまして、市では政策研究所でいろいろな研究をしていますので、それらも政策に活かしていかなければいけないと思っています。あとは、私自身が市長になってから、ふるさと納税もそうですが、中野市のブランド化ということに力を入れてきました。今後もそういったことに力を入れていきたいと思っています。これから「Sea to Summit」などのイベントもありますし、8月25日には「信州なかのナイター」も明治神宮球場で開催されますので、皆さまも足を運んでいただければと思います。

最後になりますが、市庁舎のパンフレットをお配りさせていただきました。土日も庁内へ入館できまして、5階の展望フロアや2階の交流サロンについては、皆さまも自由に入ることが出来ますので、ぜひご利用していただきたいと思います。最近では、高校生たちも勉強で利用していることもありますけども、会議などで使っている時には使用できませんが、ぜひ自由に使っていただきたいと思います。北側には、高社山が見えまして、西側と東側はガラス窓になっていまして、西側には北信五岳がものすごく綺麗に見え、東側も東山がよく見えます。また、南側は会議室などを一部開放して、市民の皆さまもこれから見られるような工夫をしていきたいということで考えています。

広くお話をさせていただきましたが、ありがとうございました。

#### 《質疑応答・要望①》

高社小学校の開校に伴い、金井区の道路の交通量が増えたりなど事情が変わってくると思いますので、児童の登下校中の事故が無いように考えながら、対応をしてもらいたい。また、消防団の総合技術大会の中で「救護」をやっているのは、中野市しかないと聞いています。予防消防だけでなく、そういった活動で市民の支援や避難関連のことなどに力を入れているということを広く周知してもらえれば、それに対して、子育て世代の方たちも集まってくるのかなという期待もありますので、これから広く広報していただければと思います。

(市長)

はじめに学校の通学路についてですが、現在、湯本工務店の前の交差点が危険ということなど、区の皆さまが思っている場所の図面をいただきたいと思います。それに

対して、どうなんだという対策が出来ます。将来、交通量が変わって危険になるんじゃないかということもですが、今現在、危険な状況にあれば、交通量が増えればより危険になることは明らかだと思います。今住んでいる人が危険だと思っていることを教えてもらえれば、私の方でも指示を出しやすいこともあり、検討しやすくなりますので、具体的な地図などがあればお願いします。それから、防災の関係についてですが、防災訓練の在りようや伝え方も変わってくると思いますが、いいアイデアなどがあれば教えていただきたいですし、力を入れていきたいと思っています。

#### 《質疑応答・要望②》

先日、長野県のマップに中野市の位置を落としてあるラッピングバスを見ました。県外へ行ったときにもすごくPRになると思うので、ぜひどんどん活用してもらえばいいと思います。

(市長)

研究したいと思っています。